



※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2 Q	2,760,000株	2020年3月期	2,742,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2 Q	37,193株	2020年3月期	93株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2 Q	2,730,901株	2020年3月期2 Q	2,477,907株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響等により、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況の中、主に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当社の主たる事業領域であるダイレクトメール市場の取引高は前年同期と比較し減少しており、また、インターネット広告市場においてもその影響を多大に受けております。

このような事業環境の中、当社はダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社の当第2四半期累計期間における売上高は6,904,181千円（前年同期比3.9%増）、営業利益は445,651千円（前年同期比370.4%増）、経常利益は445,397千円（前年同期比375.6%増）、四半期純利益は280,620千円（前年同期比342.6%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、日野フルフィルメントセンターを中心に、市場の拡大が続いている宅配便等の小口貨物の取扱いの強化に努めました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月～5月の売上は減少したものの、6月以降は回復傾向が見られました。また、宅配便等の小口貨物を扱うフルフィルメントサービスに関しては、堅調に進捗いたしました。

この結果、売上高は5,107,934千円（前年同期比11.9%減）、セグメント利益は89,845千円（同71.0%減）となりました。

#### ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、SEO（注）1. と併せて、コンテンツマーケティング（注）2. に注力し、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化しました。また、これまで培ったSEOのノウハウとWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）3. にも引き続き注力いたしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大による業績低下要素はあったものの、パーティカルメディアサービスにおいてSEO施策が良好に推移したこと、及び同サービスで展開する比較サイトにおいて外出自粛や在宅勤務の広がり等による巣籠需要の高まりにより送客数が伸長しました。

この結果、売上高は1,796,246千円（前年同期比111.6%増）、セグメント利益は661,937千円（同735.3%増）となりました。

（注）1. SEOとは検索エンジン最適化（Search Engine Optimization）の略称で、検索エンジンの表示順位判定基準（以下、アルゴリズム）の解析結果に基づき、検索エンジンが高い評価をするWebサイト構造に最適化することを意味します。

2. コンテンツマーケティングとは、顧客および顧客となり得るユーザーに対して、有益な情報を各種コンテンツによって提供し、広告主が目標としている成果に結びつく行動を促すマーケティング施策です。

3. パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は4,524,073千円となり前事業年度末に比べ、419,057千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加80,555千円、受取手形及び売掛金の増加323,513千円などによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は2,540,578千円となり前事業年度末に比べ、100,167千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加57,387千円、未払法人税等の増加151,039千円、賞与引当金の増加100,784千円、短期借入金の減少100,000千円及び長期借入金の減少134,586千円などによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,983,495千円となり前事業年度末に比べ、318,889千円増加いたしました。これは、新株予約権の行使による資本金の増加6,246千円及び資本剰余金の増加6,228千円、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加280,620千円、新株予約権の発行及び権利不確定による失効の見積数に重要な変動が生じたことによる新株予約権の増加68,459千円及び自己株式の取得による減少42,664千円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ80,555千円増加し、943,819千円となりました。

当第2四半期会計期間末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は409,355千円（前年同期比152.6%増）となりました。これは主に税引前四半期純利益442,097千円、減価償却費59,362千円、株式報酬費用68,320千円、仕入債務の減少額57,387千円及び賞与引当金の増加額100,784千円があった一方で、売上債権の増加額323,513千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は62,834千円（同7.4%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出30,855千円、無形固定資産の取得による支出28,631千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は265,964千円（同84.3%増）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入金の返済による支出134,586千円及び自己株式の取得による支出42,664千円があったことによるものです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	863,263	943,819
受取手形及び売掛金	1,427,544	1,751,057
貯蔵品	22,697	22,693
その他	94,949	134,280
貸倒引当金	△12,221	△14,514
流動資産合計	2,396,232	2,837,336
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	259,870	257,586
機械及び装置（純額）	244,981	220,318
車両運搬具（純額）	4,044	5,041
工具、器具及び備品（純額）	63,868	64,912
土地	668,606	668,606
リース資産（純額）	8,567	7,338
有形固定資産合計	1,249,939	1,223,803
無形固定資産		
のれん	49,896	43,659
ソフトウェア	32,284	61,909
ソフトウェア仮勘定	20,111	—
無形固定資産合計	102,292	105,568
投資その他の資産		
その他	380,967	381,603
貸倒引当金	△24,415	△24,238
投資その他の資産合計	356,551	357,364
固定資産合計	1,708,783	1,686,736
資産合計	4,105,016	4,524,073

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	844,202	901,589
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	269,172	269,172
未払法人税等	25,881	176,920
賞与引当金	—	100,784
その他	424,196	450,066
流動負債合計	1,663,451	1,898,532
固定負債		
長期借入金	768,236	633,650
その他	8,722	8,395
固定負債合計	776,958	642,045
負債合計	2,440,410	2,540,578
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	318,995	325,241
資本剰余金	245,230	251,458
利益剰余金	1,096,241	1,376,862
自己株式	△130	△42,795
株主資本合計	1,660,336	1,910,766
新株予約権	4,270	72,729
純資産合計	1,664,606	1,983,495
負債純資産合計	4,105,016	4,524,073

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,644,240	6,904,181
売上原価	5,400,596	5,138,805
売上総利益	1,243,644	1,765,375
販売費及び一般管理費	1,148,898	1,319,724
営業利益	94,745	445,651
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	1
受取手数料	610	861
助成金収入	—	338
その他	349	302
営業外収益合計	963	1,506
営業外費用		
支払利息	1,910	1,496
その他	142	263
営業外費用合計	2,053	1,759
経常利益	93,655	445,397
特別損失		
減損損失	—	3,299
抱合せ株式消滅差損	2,298	—
特別損失合計	2,298	3,299
税引前四半期純利益	91,357	442,097
法人税等	27,950	161,476
四半期純利益	63,407	280,620



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	91,357	442,097
減価償却費	68,235	59,362
のれん償却額	49,078	6,237
株式報酬費用	—	68,320
減損損失	—	3,299
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	2,298	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,166	2,116
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	1,910	1,496
売上債権の増減額 (△は増加)	91,068	△323,513
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,749	3,353
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85,940	57,387
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50,911	100,784
その他	△44,730	837
小計	235,768	421,774
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△1,910	△1,496
法人税等の支払額	△71,809	△10,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,052	409,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△32,377	△30,855
無形固定資産の取得による支出	△25,421	△28,631
関係会社株式の取得による支出	△4,778	—
敷金及び保証金の差入による支出	△7,025	△3,790
その他	1,715	442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,887	△62,834
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300,000	—
短期借入金の返済による支出	△300,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△143,106	△134,586
リース債務の返済による支出	△1,181	△1,327
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	12,474
新株予約権の発行による収入	—	139
自己株式の取得による支出	—	△42,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,287	△265,964
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△50,122	80,555
現金及び現金同等物の期首残高	457,105	863,263
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	165,528	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	572,511	943,819

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式37,100株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が42,664千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が42,795千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ダイレクトメール 事業	インターネット 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,795,198	849,042	6,644,240	—	6,644,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,795,198	849,042	6,644,240	—	6,644,240
セグメント利益	309,522	79,246	388,768	△294,023	94,745

(注) 1. セグメント利益の調整額△294,023千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ダイレクトメール 事業	インターネット 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,107,934	1,796,246	6,904,181	—	6,904,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,107,934	1,796,246	6,904,181	—	6,904,181
セグメント利益	89,845	661,937	751,783	△306,132	445,651

(注) 1. セグメント利益の調整額△306,132千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。